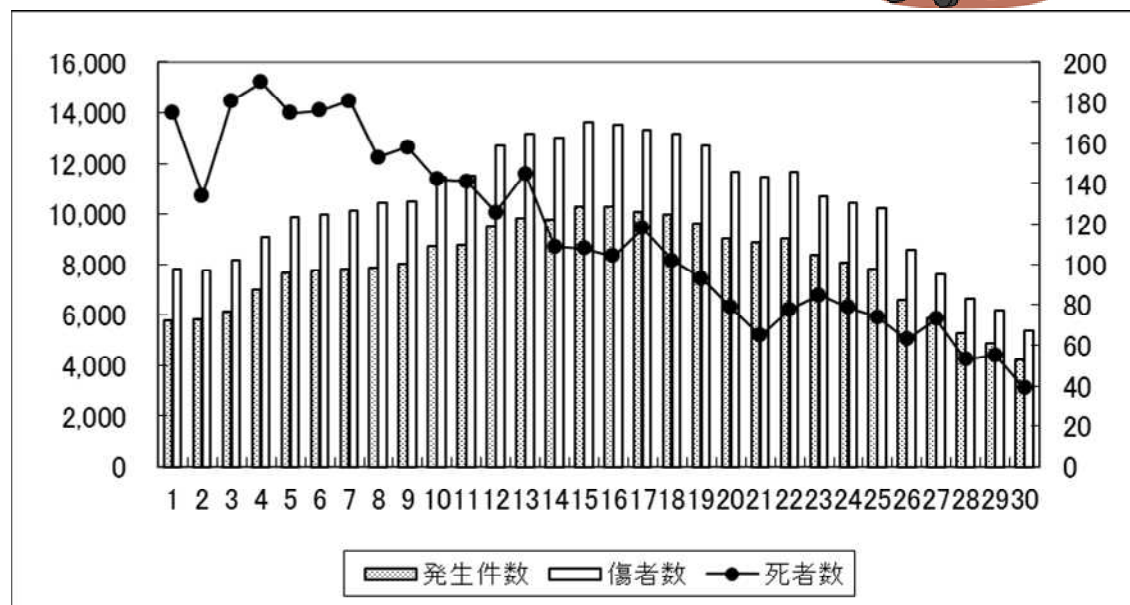


滋賀県の交通事故発生件数と死傷者の推移（平成1年～30年）



年	発生件数	傷者数	死者数
平成 1	5,796	7,826	175
2	5,842	7,773	134
3	6,147	8,158	181
4	7,025	9,076	190
5	7,663	9,886	175
6	7,773	9,999	176
7	7,828	10,123	181
8	7,843	10,442	153
9	7,993	10,479	158
10	8,703	11,429	142
11	8,764	11,491	141
12	9,519	12,731	126
13	9,846	13,149	145
14	9,766	13,038	109
15	10,276	13,619	108
16	10,292	13,511	104
17	10,107	13,326	118
18	10,005	13,153	102
19	9,626	12,720	93
20	9,023	11,651	79
21	8,849	11,426	65
22	9,023	11,656	78
23	8,383	10,709	85
24	8,071	10,419	79
25	7,836	10,214	74
26	6,598	8,545	63
27	5,886	7,632	73
28	5,294	6,651	53
29	4,876	6,178	55
30	4,212	5,361	39



交通事故の発生件数、傷者数、死者数は、減少傾向です。
 特に、平成30年中の死者数39人は、前年より16人減少し、40人を下回る水準は昭和25年以来、68年ぶりのこととなりました。
 ただ、いまだに多くの方々の大切な命が交通事故によって、奪われています。

【昨年発生した事故の特徴】

- 高齢者（65歳以上）が被害に遭われる事故が非常に多い**
 →昨年（平成30年）、県内の交通事故死者数は39人、うち20人が65歳以上の高齢者です。
 交通死亡事故の5割以上が高齢者の死亡事故です。
 県内の高齢者の死亡事故は、歩行中が8人、自動車の運転中は8人で、合わせると全体の8割になります。